

水素エネに 理解深める

八百津町でシンポ

次世代エネルギーとして期待される水素エネルギーについて理解を深めてもらおうと、総合エネルギーサービス事業を手がける清流パワーエナジー（岐阜市、酒井康弘社長）は、加茂郡八百津町の町ファミリーセンターでシンポジウムを開催し、写真、町民ら約300人が来場した。

水素エネルギーは二酸化炭素を排出しないクリーンな燃料として注目される。

県は2016年に八百津町や岐阜大、同社ら民間企業と連携協定を結び、現在、同町で地元間伐材などを使

った木質バイオマス発電で
の水素製造を目指して、施
設の整備を進めている。

講演ではトヨタ自動車や
県の担当者らが県の環境政
策や水素エネルギーの活用
例を紹介。また、町のプロ
ジェクトの進捗について
説明した。

会場では子ども向けに燃
料電池教室や、燃料電池バ
スの試乗もあり、来場者は
楽しみながら水素エネルギ
ーについて学んだ。

